

第49回 熊日学童オリンピック

第52回 熊本県下少年剣道錬成大会要項

1. 主催 一般財団法人熊本県剣道連盟・熊本日日新聞社
2. 主管 宇城市剣道連盟
3. 後援 熊本県教育委員会・熊本県PTA連合会
宇城市・宇城市教育委員会（予定）
4. 協賛 JA熊本果実連
5. 期日 令和5年9月30日（土） 午前9時00分 開会式
午前8時30分 受付
6. 会場 宇城市松橋総合体育文化センターウイングまつばせ
宇城市松橋町大野85 TEL 0964-32-5556
7. 参加資格 (1) 監督は、令和5年度の熊本県剣道連盟の年会費を納入し、登録会員であること。
(2) 熊本県内の小学校、道場、その他責任者のいる団体の元で剣道を修行している小学生とする。
なお、本大会に出場するために臨時に編成されたチームの参加は認めない。
(3) 出場チームは、学校・道場単位とし、1団体から複数チームの出場を認める。
(4) 団体勝ち抜き戦と低学年の部への重複出場はできない。
(5) メンバー不足については、団体勝ち抜き戦3名以上、低学年2名以上ならば参加を認める。ただし、以下の申し合わせ事項に注意する。
ア 5人制の場合：4名出場ならば次鋒を空け、3名出場ならば次鋒、副将を空ける。
イ 3人制の場合：中堅を空ける。
8. 競技種目 (1) 団体勝ち抜き戦（5人制）
(2) 低学年の部（3人制・小学4年生以下）
9. 参加費 団体勝ち抜き戦 1チーム 6,000円
低学年の部 1チーム 4,000円
10. 参加申込 加盟団体事務局へ申し込む。
熊本県剣道連盟のホームページ [http://kumamoto-kendo.org/]
(申込書をダウンロードして、加盟団体事務局へ申し込むこと)
11. 申込締切 加盟団体事務局 9月8日（金）
熊本県剣道連盟 9月12日（火）
※新聞掲載の都合上、期日厳守
12. 組合せ 組み合わせについては、前回大会（令和4年度）のベスト8をシードとし、主催者で抽選を行う。
13. 試合方法 (1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則同細則、及び主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン（新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判法）に記載の試合方法、本大会の申し合わせ事項によって実施する。

- (2) 団体勝ち抜き戦（5人制）の試合は、3本勝負で試合時間は2分とする。勝負が決しない場合は引き分けとする。ただし、大将同士の試合の場合は勝負が決するまで行う。なお、延長戦は2分区切りで3回まで行い、1回3分の休憩を取り、勝敗の決するまで継続する。また、ベスト8以上の試合時間は3分とする。
- (3) 低学年の部（3人制）の試合は、3本勝負で試合時間は2分とする。勝負が決しない場合は引き分けとする。ただし、勝者数、総本数が同数の場合は、任意の代表者による代表戦を行う。代表戦は、1本勝負で行う。試合時間は2分とし、試合時間内に勝敗が決しない場合は延長戦を行う。延長戦は2分区切りで3回まで行い、1回3分の休憩を取り、勝敗の決するまで継続する。
- (4) 選手の変更については、疾病等により出場不可能な場合に限り欠員の補充を認めるが、登録選手の入れ替えは認めない。
試合開始までに各試合場の審判主任に届け出る。

14. 表彰 団体勝ち抜き戦、低学年の部ともに優勝チームには賞状と優勝旗、副賞、2位には賞状と副賞、3位（2チーム）には賞状と副賞をそれぞれ授与する。

※予定

その他、団体勝ち抜き戦においては、5人抜き、10人抜き、15人抜きの選手にその都度表彰を行う。（※対戦相手が5人を欠く場合は該当しない）

15. 安全管理 出場者は各自、健康管理に十分留意して大会に出場すること。
出場者には主催者側で1日傷害保険に加入するが、傷害等発生の場合は当連盟が加入している範囲内で対応する。

16. 個人情報保護法への対応

申込書に記載される個人情報（漢字氏名、かな氏名、電話番号、学年、性別等）は、熊本県剣道連盟が実施する本大会運営のために利用する。なお、氏名、団体名、チーム名等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体（掲示用紙、ホームページ等）に公表することがある。さらに、剣道の普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

17. その他

- (1) オーダー表は当日の朝、受付時に提出する。
- (2) 選手は、主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドラインに従う。
面マスクの着用は個人の判断に委ねるが、シールドの着用は願う。
- (3) 応援者の入館は認めるが、検温と手指の消毒は必ず行うこと。なお、感染状況に合わせて直前に変更することがある。
- (4) 各チーム及び保護者には、感染予防対策への協力をお願いする。
- (5) 試合場への出入りは役員、審判、監督、選手のみとする。
- (6) 会場使用についてはマナーを守る。
- (7) 各チームで目印（赤・白の目印）を準備する。
- (8) 監督の服装は、剣道着・袴とする。
- (9) 感染状況により、中止する場合もある。